



特別号

令和4年 3月10日
児童数 666名
編集発行 新潟市立下山小学校

学校評価 ② ～3プロジェクトの取組～

今年度も3プロジェクト〔まなび・かかわり・くらし〕の取組を柱に、「かかわり合って みんなが楽しい学校」を目指しました。

後期前半では、縦割り班清掃や、なかよし班を生かした「読み聞かせ」で交流する活動を実施することができました。また、ウキウキフェスティバルでは「マイピアサポートカード」を用い、「自分の役割」「仲間のためにできるサポート」に取り組み、振り返りを行うことで一人一人が達成感を感じることができました。

学校が楽しい 90% (あてはまる64%, ややあてはまる26%)

〔前期 93%, 新潟市の平均 90.6%〕

「学校生活が楽しい」と答えた児童が、新潟市の平均とほぼ同じ結果になりました。前期に比べて、「あてはまる」と答えた児童の割合は4%向上していました。「かかわり」を大切にされた各プロジェクトの手だてが子どもたちに浸透し、温かい言葉や、相手を思いやる行動がいろいろな場面で見られます。

3プロジェクトの達成目標、及び12月に実施した伸びる子アンケートについての結果は以下のとおりです。

達成目標の評価は達成率で表し、児童アンケートにおいて十分に達成、おおむね十分達成した割合で示しています。なお、伸びる子アンケートの棒グラフの数字は、左からA(十分) B(おおむね十分) C(やや不十分) D(不十分)の割合を表わしています。また、7月と比較できる項目については、7月の達成率(A+B)を入れました。



ウキウキフェスティバル

I まなびプロジェクト (対話を通して、考えを広げ深める子どもの育成)

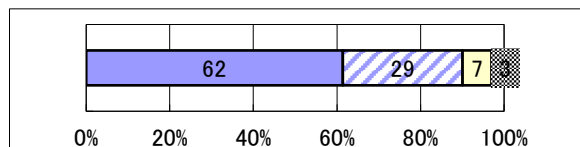
1 達成目標と結果 〔評価…A:80%以上 B:70%以上 C:70%未満〕

◎ペアや小グループ、全体でかかると、勉強がよく分ると答える子どもが80%以上

〔達成率 91%でA〕

★各学年の達成率

1年…96%	2年…95%
3年…86%	4年…90%
5年…92%	6年…86%



7月の結果を上回りました。
今年度は、授業のねらいを達成するために、iPadを活用しながら、友達の考えと自分の考えを比較・検討する場面をつくりました。また、対話的な学びを促す発問を工夫し授業に取り組みできました。

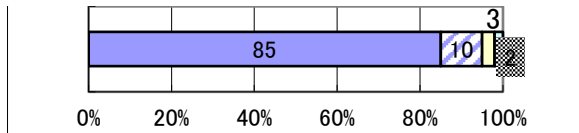
A(思う)62%, B(だいたい思う)29% 計91% 〔7月90%〕

2 伸びる子アンケートの結果（目標 A+B 80%）

【子ども】

(1) 授業で「課題」と「まとめ」を書いている。(2～6年)

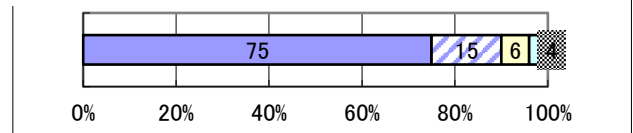
※勉強の「課題」が分かる。(1年)



A85%, B10% 計 95% [7月 96%]

(2) 授業の最後に、「振り返り」を書いている。(2～6年)

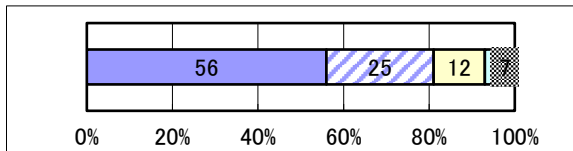
※「まとめ」を書いている。(1年)



A75%, B15% 計 90% [7月 91%]

A(毎回) B(だいたい)

(3) 家に帰ってから、「10分×学年」の家庭学習に取り組んでいる。



A56%, B25% 計 81% [7月 81%]



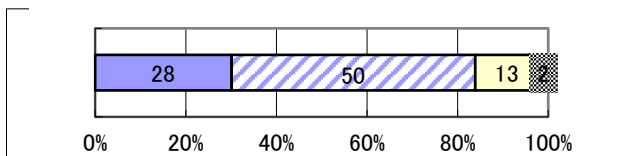
タブレットを使った学習

【保護者】(お子さんについての質問)

A(十分)

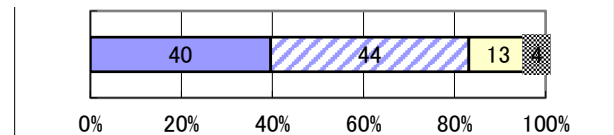
B(おおむね十分)

(1) 授業を楽しみにしている。



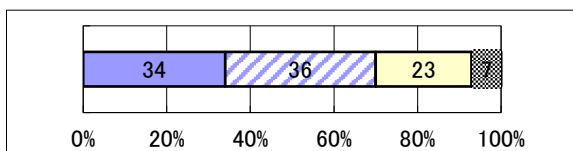
A28%, B50% 計 78% [7月 85%]

(2) ノートに「課題」と「まとめ」・「振り返り」を書いている。



A40%, B44% 計 84% [7月 82%]

(3) 家に帰ってから、「10分×学年」の家庭学習に取り組んでいる。



A34%, B36% 計 70% [7月 73%]

子ども(81%)の見方と違って
ています。7月より3ポイント下
がりました。家庭学習に課題が見
られます。

3 今後、取り組むこと(○学校 ◇家庭との連携、お願いしたいこと)

- ICTを活用しながら、友達とかかわり合い、対話的な学びを深める学習を工夫していきます。
- 友達と考えを伝え合う際に、お互いが認め合える支持的風土づくりに努めます。
- ねらいを達成するための手段として、iPadの活用方法をさらに工夫していきます。
- ◇家庭での学習習慣が身に付くよう、家庭学習カードを活用しながら、たよりや保護者との連携を通して共に取り組みます。家庭での声掛け・励ましをお願いします。

Ⅱ かかわりプロジェクト（友達を思いやり，互いに助け合う子どもの育成）

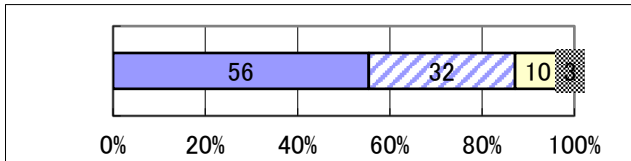
1 達成目標と結果

ア 学級やなかよし班での活動で，相手の気持ちを考え助け合っている子どもが85%以上

〔達成率 88%でA〕 〔評価…A：85%以上 B：75%以上 C：75%未満〕

★各学年の達成率

1年…94%	2年…87%
3年…88%	4年…83%
5年…93%	6年…83%

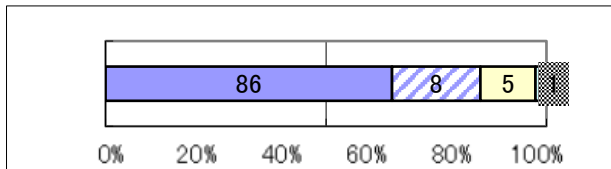


後期前半は，なかよし班の活動が始まり，縦割り清掃や，6年生による読み聞かせを実施することができました。なかよしタイムはクラスごとに，みんなが楽しめるゲームを行い，みんなで楽しんでいる姿が見られました。

A(している)56%， B(だいたいしている)32% 計88%（7月92%）

イ 友達とかかわって活動することに満足している子どもが80%以上（Aのみの評価）

〔達成率 86%でA〕 〔評価…A：80%以上 B：65%以上 C：65%未満〕



★各学年の達成率

1年…92%	2年…87%
3年…90%	4年…81%
5年…79%	6年…88%

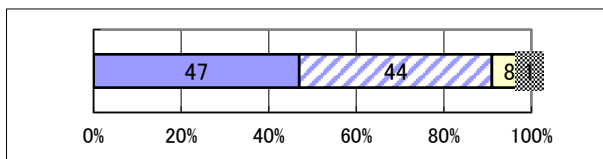
目標を上回るすることができました。ウキウキフェスティバルでは友達と意見を出し合い協力しながら，よさや頑張りを認め合う姿が見られました。

A(している)86%， B(だいたいしている)8% 計94%（7月97%）

2 伸びる子アンケートの結果（目標 A+B 80%）

【保護者】（お子さんについての質問）

☆ 友達と仲良く過ごしている。 A(十分) B(おおむね十分)



A47%， B44% 計91%達成〔7月91%〕



6年生による読み聞かせ会

3 今後，取り組むこと（○学校 ◇家庭との連携，お願いしたいこと）

- マイ・ピア・サポートカードを今後も継続し，友達のために役に立つ仕事を意識すると共に，役だったことを実感できるような振り返り活動（ありがとうカード）をさらに充実していきます。
- なかよしタイム（なかよし班や学級での遊び）では感染対策に配慮しながら，子どもたちが一緒に遊ぶ楽しさやお互いのよさに気付けるような活動を工夫していきます。
- ◇友達とのかかわりの中で，思いやりやに欠ける行為や言動が見られた際は，そのときの気持ちを振り返ることができるよう話を聴き，子どもの気持ちに寄り添いながら一緒に考えてあげてください。

Ⅲ 暮らしプロジェクト（責任を果たし、めあてに向かってやり遂げる子どもの育成）

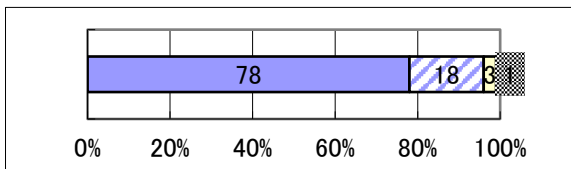
1 達成目標と結果

ア 自分の仕事（清掃・委員会・係・当番）で、自分の役割をやり遂げている子どもが80%以上
（アンケートはAのみの評価）

〔達成率 78%でB〕 〔評価…A：80%以上 B：70%以上 C：70%未満〕

★各学年の達成率

1年…79%	2年…75%
3年…82%	4年…84%
5年…68%	6年…77%



A78%, B18% 計96%（7月87%）

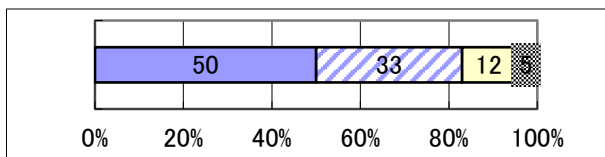
目標を下回りましたが、高学年はより自分の仕事に責任をもって取り組もうとしている姿ととらえています。AとBの肯定的評価を合わせると、昨年度とほぼ同じ結果となります。自分の役割を果たしている姿を認め、励ましていきます。

イ 友達や先生、地域の方に自分から気持ちのよい挨拶をしている子どもが85%以上

〔達成率 83%でB〕 〔評価…A：85%以上 B：75%以上 C：75%未満〕

★各学年の達成率

1年…95%	2年…78%
3年…83%	4年…86%
5年…78%	6年…75%



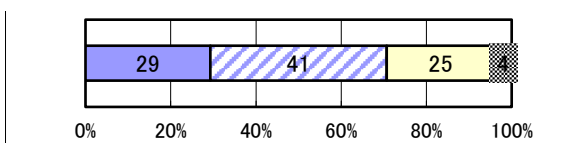
A50%, B33% 計83%（7月87%）

目標を下回りましたが、日々の挨拶はよくなっています。中学校とも連携したあいさつ運動や、あいさつ強調週間、各学年や各学級での取り組みを通して、気持ちのよい挨拶ができるようにしていきます。さらに、登下校では、見守り隊の方々にも、気持ちのよい挨拶ができるように働き掛けていきます。

2 伸びる子アンケートの結果（目標 A+B 80%）

【保護者】（お子さんについての質問）

☆ 家族や近所の人に対して進んで挨拶をしている。



A29%, B41% 計70%達成〔7月74%〕

A(十分) B(おおむね十分)



小中合同あいさつ運動

3 今後、取り組むこと（○学校 ◇家庭との連携、お願いしたいこと）

- 自分の仕事が周りの人の役に立っていることが感じられるように、お互いを認め合う活動を進めていきます。
- 子どもたちのよい行動を、Good Job カードなどを使いタイムリーに認め・賞賛していきます。
- 新しい生活様式の中で、マスクを着用していても伝わるような、心のこもった挨拶ができるように支援していきます。
- ◇ご家庭では、ご家族や親戚、近所の方に意識をして挨拶に取り組んでいただけるようお声掛けをお願いします。